

させるための取組みを実施します



改良五千円券（イメージ）

※識別マーク

ホログラムの透明層の拡大



現行券のイメージ



改良券のイメージ

財務省、日本銀行及び独立行政法人国立印刷局（以下「国立印刷局」といいます。）は、本年四月二十六日、目の不自由な方々にとって銀行券がより使いやすいものとなるよう、次の取組みを公表しました。

早期実施に向けて着手する 三つの具体的な取組み

① 五千円券の改良

五千円券について、表面左下に貼付しているホログラムの透明層（光沢性のある透明シール）を拡大するとともに形状を変更します。この改良は、ATM等の現金取扱機器への影響を最小限に抑えつつ、ホログラムの透明層の触感がその他の印刷面と異なることを利用して、券種の識別性を向上させる取組みです（五千円券の寸法、模様等を変更するものではありません）。

——改良五千円券は、平成二十六年前半を目途に順次発行開始予定です。

② 携帯電話に搭載可能な日本銀行券の券種識別アプリの開発・提供

国立印刷局が、現在発行されている日本銀行券四券種の券種識別機能をスマートフォン（※）として開発し、

日本銀行券の券種の識別性を向上

行券四券種の券種識別のための専用簡易機

③ 券種の識別機器の開発・情報提供

国立印刷局が、現在発行されている日本銀行券四券種の券種識別のための専用簡易機

—— 本年中を目途に、配信開始予定です。

(※) スマートフォンのカメラ部分に日本銀行券をかざして券種を認識すると、音声で券種を案内するものです。

これを、国民の皆様が無償で提供する予定です。



一万円券（現行券）



二千円券（現行券）



千円券（現行券）

※識別マークとは、インキの盛りにより、ざらつきのあるマークです。なお、今回の取組みでは、識別マークに変更はありません。

将来に向けた取組み

将来の日本銀行券改刷（様式の変更、時期

器(※)のモデルを開発し、現在、民間企業等に対してモデルに関する情報提供を行っているところ。 (※) 日本銀行券の券種を認識すると、音声等で券種を案内するものです。

未定)が、目の不自由な方々にとっての券種の識別性の大幅な向上につながるものとなるよう、関係者からの意見聴取、海外の取組状況の調査等、様々な観点から検討を行ってまいります。

■ 本件に関する照会先

日本銀行券券局総務課総務企画グループ
電話 〇三―三三―七九―一一―(代表)

内線 二四一〇